



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越 🔍



2026.5.10 金谷山<熱気球で空飛ぶ体験> 撮影：松本栄規さん

「たより」No.315 目次

会員数と

「ふるさと市場」販売報告 …… 1
Jネットの活動とお知らせ …… 2

令和8年度定時総会スナップ …… 3

勉強会報告 …… 3

◇前島密翁墓前祭への参列と
北鎌倉美術館等の見学

◇都立野川公園散策

俳句ひろば …… 4

上越の行事 …… 4

◇第47回高田城址公園観蓮会

◇上越まつり
高田祇園祭 / 直江津祇園祭

会員ひろば …… 5

◇名作 しろばんば・故郷
佐藤光子

◇5月に演奏した楽器
(チューバ) について 土田正栄

瀧川鯉橋師匠 高座予定 …… 7

上越タイムス・上越ケーブルビジョン
(アクセス方法のご案内) …… 7

上越産品販売のお知らせ …… 7

JネットHPのご案内 …… 7

上越市からのお知らせ …… 7

令和8年度定時総会スナップ …… 8

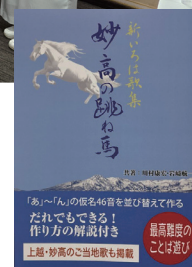
会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員数 499名 (令和8年6月4日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和8年4-5月 252点 427,429円 ※前年同月 187点 375,443円

◆5月14日(木)湯島にてサロン開催

今月のサロンは前日に「勉強会・野川公園」があり、また、数日後に『楽悠』コンサート鑑賞会を控えて、いつもより参加者は少な目でしたが24名の会員が集い、楽しく和やかなサロンとなりました。途中、JネットのHPをご覧になって参加された岩崎航一さんが「新いろは歌集・妙高の跳ね馬」と題される歌集をご紹介くださいました。「あ〜ん」の仮名46音を並び変えてつくる「ことば遊び」の歌集です。皆様興味津々、岩崎さんを囲み、上越の銘酒を酌み交わしながら話が盛り上がりました。久々に参加の木嶋さんからお話いただきました。(祖父江ひろみ 記)



差し入れは、古川さんから雪中梅、鴨井さんから(青森)豊盃、櫻野さんから深雪花、高橋稔さんから(佐渡)真野鶴、会長から巻き寿司、有り難うございました。(事務局)

【次回以降のサロン】

毎月第2木曜日開催 17:30~19:00 (予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ R8.7月9日(木) 17:30~19:00 ◆ R8.8月11日(木) 17:30~19:00 参加費1,500円

会場：東京新潟県人会館

「ふれあいふるさと館」<https://niigatakenjinkaikan.com/>

〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619



◆令和8年度総会・講演会・懇親会報告

令和8年度定時総会は、5月23日(土)、アルカディア市ヶ谷で開催しました。小菅淳一市長はじめふるさと応援室平原謙一室長、同室市川成治係長、賛助会員からは上越ケーブルビジョン丸田健一社長、上越タイムス社市村雅幸取締役、肝太の池田勝重取締役、石田眼科(本町2)石田誠夫理事長が出席、そして一般会員が加わり総勢86名の参加となりました(昨年は68名)。

はじめて参加された小菅市長からは、上越には日本の良いところがたくさんあり、「Meet Japan in Joetsu」というキャッチフレーズとして観光を促進させると紹介され、また「ふるさと納税」にも協力を呼びかけられました。

このあと会長から、昨年度は新規会員が増加、活動も一段活発になったことの報告があったのち、議案審議に入り全ての議案が承認されました。

講演会では、「ちょっと知っておいて損はない眼科治療」と題し、石田誠夫先生からお話をいただきました。白内障など身近な治療の話に加え、あらためて石田眼科の医療技術、設備のレベルが高いことを認識しました。

懇親会は小坂恵美理事の司会で進行、初代会長の佐久間昇二顧問から開宴挨拶と乾杯のご発声をいただき、和やかで、時に賑やかな集まりになりました。地元の日本酒、ワインに加え、たけのこ汁も好評。そのあと恒例のくじ引き。そして最年少の堀田滉樹さんのお話(瞽女を題材にした落語など企画)のあと、平原室長の音頭で万歳三唱、上野邦治さんに勝どきで締めさせていただきました。

◆ 5月23日(土)開催 総会スナッフ

◎当日のスナッフをP8へ掲載しています。



◆ 第62回 J ネット勉強会報告 前島密翁墓前祭への参列と北鎌倉美術館等の見学

今年の前島密翁墓前祭は4月25日に執り行われ、「ふるさと上越」からは小坂会長以下14名、上越市からは小菅市長と「前島密翁を顕彰する会」から滝沢会長はじめ三十数名の方々が参列しました。今回は日本郵政(株)根岸社長が参列されたためか郵政関係者の参列者が多く、総勢300名を超える方々が参列されました。



小菅市長からは、上越では前島密翁の生誕190年の式典などを通して、翁と市民との強い絆で結ばれていること、滝沢会長からは密翁の格言の披露がありました。墓前祭に参列するたびに、前島密翁が郵便事業等々日本の近代化等々の偉業に貢献され、上越のみならず晩年過ごされた芦名の人々にも慕われ、静かにこの地の浄楽寺にご夫婦で眠っておられることを想いいたします。



式典終了後の懇親会は、遠藤会員の紹介のお店で地元的新鲜な鮮魚と野菜の料理に堪能しました。その後、北鎌倉の古民家ミュージアムと葉祥明美術館を見学しました。見学した所は北鎌倉の円覚寺や明月院等の有名な名所と異なり、見学者が少なく落ち着いて観賞出来ました。(溝口良二 記)

◆ 第63回 J ネット勉強会報告 都立野川公園散策

今回の勉強会は5月13日(水)に実施し、小坂会長以下13名の皆さまが参加されました。当日は五月晴れでしたが若干暑い気候でした。三鷹駅からバスで20分程の住宅街に、由緒あるわさびを復活させる「大沢の里古民家」があり、また江戸時代からの農家には水車(みずぐるま)と歯車を巧みに組み合わせた装置で、小麦を粉に、玄米を白米にする「大沢の里水車経営農家」を見学しました。ウェブで見ると違い、実際に見ると「百聞は一見に如かず」の感じがしました。「近藤勇の墓」を参拝し、新緑の木々が茂る野川公園内を心地よい風に触れながら「わき水の広場」等を散策しました。2時過ぎに三鷹駅前の中華料理店で、ビールで喉を潤ませ、美味しい料理に堪能し、四方山話をして3時過ぎ散会しました。



最後になりましたが、今回の勉強会は内田道行さんに企画から懇親会まで設営いただき誠にありがとうございました。(溝口良二 記)

仲夏

木道の先へ先へと花菖蒲

ジーンズの裾巻き上ぐる芒種かな

時の日や昭和生まれの腕時計

夏至暮るるみづうみに水満ち満ちて

郭公のこゑに歩を止む下山かな

万緑のなか県境の駅にゐる

曇天の朝青鳩の来るを待つ

宇賀田洋巳

上越の行事

◆ 高田城址公園観蓮会 7月18日開幕

第47回高田城址公園観蓮会の日程が7月18日から8月23日までに決まりました。上越市本城町の高田城址公園や本町商店街でさまざまなイベントが行われ、外堀に咲く「東洋一の蓮花群」が楽しめます。会場では昨年好評だった「蓮を見ながら乗馬体験」や観蓮会浴衣プランなどが実施されます。



◆ 上越まつり

上越まつりの基盤となる祇園祭は歴代国司の崇敬も厚い八坂神社の祭祀で、平安時代から続く、国家安全、家運長久を願う祈願祭です。

慶長19年(1614年)に藩主松平忠輝公が直江津福島城から高田城へ移ったことを機に、直江津のほとんどの社寺が高田へ移りましたが、八坂神社は移りませんでした。

八坂神社は高田での朱印地(神社・寺院の領地として安堵された土地)を辞退する代わりに高田へ出向いて祇園祭を行うこととなり、以降、神様からお神輿にお遷りいただき直江津・高田を巡幸するという独特の祭祀が始まり、400年続く伝統のお祭りとなりました。

祭り期間中は、高田と直江津が神輿で結ばれ、19の屋台と迫力ある御饌米(おせんまい)奉納でフィナーレを迎えます。



注：令和7年ポスター

高田祇園祭(7月23日～7月26日)

7月23日(水)

発輿祭・前夜祭・ミュージック花火打ち上げ

7月24日(木)

祇園神輿渡御・お祭り広場・祇園神輿宮入

7月25日(金)

中日祭・ダンスコンテスト・大民踊流し

7月26日(土)※上越ケーブルビジョン放送日

祇園神輿渡御・安全祈願祭・祇園神輿奉送

直江津祇園祭(7月26日～7月29日)

7月26日(土)

神輿の川下り・大花火大会

7月27日(日)

祇園神輿渡御・御旅所還御祭

7月28日(月)

直江津大民踊流し・御神輿御本殿還御祭

7月29日(火)※上越ケーブルビジョン放送日

御饌米奉納

◆ 五月に演奏した楽器（チューバ）について

土田正栄

令和8年5月17日(日)朝霞の演奏会にご来場いただいたみなさまありがとうございます。まだご来場いただけていないみなさま、ぜひ次の機会にはぜひおこしください。会場でお会いできる日を楽しみにしています。

今回演奏した楽器（チューバ）について説明します。

【チューバ（Tuba）名称由来】

元々はラテン語の「管」（英語のチューブTubeと同じ語源）とも言われているが本当のところははっきりしない。イギリスでは小バス・ユーフォニアムをTenor Tuba、中大バスをBass Tuba、ドイツでも中バスをTuba、大バスをKontrabasstubaでTubaの文字が見られるのでこれをローマ字読みしたのかも知れない。

【諸元】

管の全長（本管のみ）約4m90cm（これに抜き差し管4本～6本分の約4m位が追加される）。

重さ約11kg、高さ約100cm、朝顔（ベル）径約45cm、真鍮にメッキ、金管楽器で最大の大きさ。1850年頃に今の原型が考案され、楽器としては歴史が浅い。現在、形は国やメーカーで統一されていないがそれだけ演奏者の好みに対応できるとも言える。演奏者が集まると楽器の構造などを話題にしたり、それぞれを見せ合ったりすることがある。

【構造】

唇の振動をマウスピース（息を吹き込むもの）に通して管体で共鳴させる。音を朝顔（ベル）から出すということは他の金管楽器と同じである。低音を出すため、長い管を長円状に3～4回位も巻かれ、ベルは上に開く。真鍮の管は抜き差し管を除き、ベルに向かって円錐管となっている。マウスピースをつける場所は楽器の中ほどにある。そのマウスピース径は48mm程度で、ほぼ唇と同じ位の大きさである。

【演奏姿勢】

大きく重たいので立奏は不向きである。腰掛けた椅子の間（股の間）に置くか、専用のスタンドで高さを調整する。そのため演奏時は楽器の大きさを感じない。息をたくさん使うが、長い旋律を演奏することがほとんどないので演奏はしやすいと思う。体に巻いてベルを前に向けた行進用のスーザフォンと言う楽器がある。昔はチューバと同じ真鍮製であったが、今はグラスファイバー製を使うことが多いので見た目より非常に軽い。

【役割】

低音を受け持ち、全体のサウンドやテンポを安定させ、音楽の支えである。これはまさに家の土台のような存在である。これに感動を覚えると病み付きとなる。管弦楽でも稀に使われるが主に吹奏楽が活躍の場である。

【値段】

モデルが多く国産で30万円～70万円位。外国製の楽器では数百万円となる。金管楽器としては高価である。そして持ち運び用のソフトケースに入れるとさらに大きく重く（約15kg）なり移動に不便で乗用車が必要とも言われる。大変な出費であるが20年も30年も使うと思えば安いと言える。ちなみに私はキャスターに付けて引っ張って運んでいる。



スーパーシニア音楽団「楽悠」第14回定期演奏会の鑑賞報告

（溝口良二）

日中は真夏を思わせる暑い日、5月17日（日）に例年通り「楽悠」の定期演奏会が朝霞市民会館（ゆめばれす）で開かれ、祖父江副会長以下10名の皆さまが鑑賞されました。いつもこの会で土田さんは金管楽器ユーフォニアムで演奏していましたが、今回は全体の編成を考えてチューバでの演奏となったそうです。いつもながらこの会を鑑賞すると、第一線を退いた方々が音楽をする喜びを求めて活動している姿に感動します。また、前年のアンケート結果や鑑賞者の年齢等を考慮し選曲して演奏して下さるので、大勢の市民の方々がホールに連れられて鑑賞されていると思いました。最後になりましたが、土田さんをはじめ、司会者・「楽悠」出演者の素晴らしい演奏曲を鑑賞させていただきありがとうございました。

◇6/19(金)眞行寺さんでの落語会(直江津・中央5丁目)
 時間：午後1時半～3時ごろ ※要ご予約
 木戸銭：一般・1,500円、門徒・1,000円 出演：瀧川鯉橋(二席)
 会場：眞行寺本堂 お問い合わせ：025-545-3496(眞行寺)

◇7/6(月)～10(金)池袋演芸場・昼の部=鯉橋主任興行=
 時間：正午～4時15分ごろ
 木戸銭：3000円(65才以上500円引きなど各種割引有)
 主任：鯉橋 ほかに蝠丸、マグナム小林、鯉八など出演
 お問い合わせ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇7/20(月・祝)グリーンホール八起寄席
 時間：午後2時～4時 木戸銭：2,000円(65才以上1500円)
 出演：ぼん太、鯉橋、弥七(曲独楽)、志う歌
 会場：相模女子大学グリーンホール(相模大野)
 お問い合わせ：042-749-2200(相模女子大学グリーンホール)

◇7/26(日)鯉橋の落語でひとやすみ(第52回)
 時間：午後4時～5時半ごろ
 木戸銭：1500円 ※終演後、別途料金で自由参加の懇親会有り
 出演：鯉橋(二席)ほか
 会場：喫茶「ひとやすみボン」(板橋区若木2丁目、環八沿い)
 お問い合わせ：080-5544-9241(オビ)

◇7/29(水)両国「七人の侍」～流浪の落語会～
 時間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1500円
 出演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬
 会場：お江戸両国亭(墨田区両国4-30-4)

◇8/1(土)三鷹、喬太郎師匠の会、詳細未定。
 ◇8/30(日)リージョンプラザ上越での落語会
 柳家花禄師匠と。詳細未定。

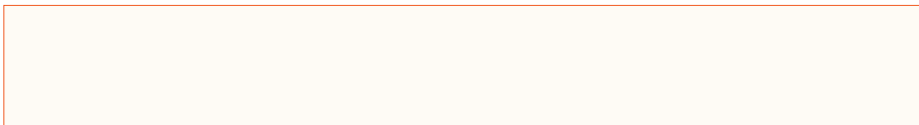


☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> どうぞご覧くださいませ 鯉橋拝

上越タイムス电子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

◆Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP 右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。各社パンフ、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。ご希望の方には、ご注文用紙をお送りしますので事務局までご連絡ください。(お電話、メールでのご注文もお待ちしております。)

● 上越特産市場

JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。<https://www.joetsu-tokusan.jp/>

Jネット ホームページ

◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真 他、掲載は多様です。
 「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードよりご覧いただけます。



上越市からののお知らせ

◇ 田植えシーズン到来！職員も田植えに参加しました。
https://www.instagram.com/furusato_joetsu_ouen/

上越市では田植えのシーズンを迎え、水を張った田んぼに小さな苗が並ぶ風景が広がっています。
 5月24日には、ふるさと納税によるご寄附をされた首都圏等にお住まいのご家族をお迎えし、板倉区で田植え体験を行いました。
 参加者の多くはリピーターの方で、3年連続で来られています。今回はふるさと応援室の職員も参加し、地域の皆さんに教わりながら、大人も子どもと一緒に真剣に田植えに取り組みました。
 作業後は、地元産コシヒカリのおにぎりが提供され、寄附者の皆さんや地域の皆さんとの交流を深めました。
 参加された方々にとって、上越市が第二の故郷として心に残れば嬉しく思います。
 次回は、秋に稲刈り体験を予定しています。今回参加された方々に、再び上越市へお越しただけの楽しみをしています。

また、Jネット会員の皆さまで「棚田で田植えや稲刈りをしてみたい！」という方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご連絡ください。

今年も美味しいお米が無事に実ることを心より願っています。



令和8年総会・講演会・懇親会スナップ



◎次号「たより」は令和8年7月25日の発行です。